



ヨネさんが聞く！

札幌市のお金って どうなってるの？

平成14年度決算が、市議会で認められました。皆さんが納めている税金がどのように使われているのか。「財政状況が厳しいことは知っているけど、詳しいことはよく分からないねえ…」と、市の広報番組でおなじみのヨネさんが市長に聞いてみることに…。そこで、ヨネさんと一緒に決算の概要を見ながら、市のお財布の中を見てみましょう。また、今年度予算上半期の執行状況も合わせてお知らせします。

ヨネさん

「上田市長、札幌市は借金をいっぱい抱えて、大変なことになっているそうだね。私は、市のお金のことがさっぱり分からないんだよ。いったいどうなっているんだい？」

市の借金の実態をみる



「ヨネさんは「市債」という言葉を聞いたことがありませんか？市が国や銀行から借りているお金、つまり借金の

ヨネさんは「市債」という言葉を聞いたことがありませんか？市が国や銀行から借りているお金、つまり借金の

ことを「市債」といいます。平成十四年度末の市債の残高は、二兆二千五百七十三億円。一般の家計から見ると、あまりにもけたが違い過ぎますね。このたくさんのお金には、幾つか種類があり、それぞれに増やしていった理由があるんです。

この特集に関するお問い合わせは
財政部 ☎211-2216へ

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/city/soshiki/zaisei.html>

※本文中の表は、各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

豆知識

「市のお財布は三つある」

皆さんが、お金を出し入れするのに便利なお財布を持っているように、市にも、お金の出し入れを管理するためのお財布（会計）があります。

入ってくるもの（歳入）と出ていくもの（歳出）、市のすべてのお金は、それぞれの性質によって3つに分けられているんです。

◆第一のお財布「一般会計」

「特別会計」と「企業会計」には含まれない、すべての歳入・歳出を管理しているお財布です。教育、福祉、ごみの収集、道路の整備など、市の基本的なお金の流れが分かるもので、市の会計の中心となっています。 [6・7頁]

◆第二のお財布「特別会計」

国民健康保険料や介護保険料など特定の収入があり、収支をはっきりさせるために、一般会計とお財布を分けて管理しています。 [8頁]

◆第三のお財布「企業会計」

地下鉄、バス、水道、病院など、民間企業と同じように、利用料金などの事業による収益で運営しています。 [8・9頁]

札幌市 広報番組 「いいコト聞いた(UHB)」

放送日時 毎月第2・4日 曜午前8時55分～9時

いつも元気なヨネさんが、市民との出会いを通して暮らしに役立つ情報をお伝えします

TV
放送中